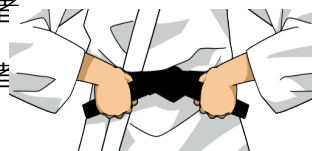


大阪長野道院だより

2月
2024. 1. 27

2・3月の主な行事予定

2月23日(金・祝)	審判講習会	9:00~17:00	吹田市立武道館「洗心館」	四段以上の拳士
3月 2日(土)	昇級考試	9:00~11:00	高向小学校	8級~4級受験者
3月 3日(日)	昇級考試	9:00~11:00	千代田道場	3級~1級受験者
3月31日(日)	昇段考試・武専	8:30~	吹田市立武道館「洗心館」	



2月の稽古場所と時間の変更について(高向小学校の体育館が使用できない日があるため)

2月10日(土) 午後6時から8時(年少部)・午後9時まで(一般部)

2月24日(土) 午後1時から3時(年少部)・午後4時まで(一般部)

場所: 西代区会館2階(河内長野市西代町16)

市立武道館の横、西代神社の隣です 車は西代神社駐車場に駐車できます

新春法会「門人代表あいさつ」

1月21日(日)大阪千代田道院占有道場にて、河南小教区(大阪千代田道院、大阪三日市道院、富田林道院、大阪狭山道院、美加の台スポーツ少年団、大阪狭山南スポーツ少年団、大阪長野道院)の「新春法会」が行われました。新春法会は河南小教区に所属する各所属長や幹部拳士が集まって、今年一年の志を立てる行事で、毎年始に実施しています。

この行事の中で、拳士を代表して今年の決意を述べる「門人代表挨拶」に当道院の砂原良太拳士が寄稿してくれました。残念ながら当日は体調不良のため、田井鉄二拳士に代読していただきましたが、私たち金剛禅総本山少林寺に所属する門人にとって、原点ともいえるべき大切な内容でしたので、皆さんにお読みいただきたいと思い、ここに紹介いたします。



門人代表挨拶

新年あけましておめでとございます。二〇二四年金剛禅総本山少林寺河南小教区新春法会にあたり、門人を代表いたしました。謹んでご挨拶申し上げます。

まず、元日に発生しました能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて昨年は新型コロナウイルスが五類に移行し、生活様式を一変させたコロナはウイズコロナからアフターコロナとなり、少しずつコロナ前の日常を取り戻しつつあります。少林寺拳法の基本となる組手主体の修練も制限なくできるようになり、多くの皆様のご尽力により大会や行事も無事に開催することができました。

個人的にも昨年は世界大会に出場させていただきました。出場された拳士の方達の大会に向かう熱意や取り組み方に触れ、自分自身を改めて見直す機会を得ることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。また迫力のある若い世代だけでなく、熟練の技をもつマスターズの部や息の合った親子の部やファミリーの部、そして自分自身のできることを最大限に発揮されたマイシードの部などそれぞれ自分の年代や体に合わせてできる少林寺拳法の多様性を感じることができました。「経験に勝るものなし」という言葉のように、このすばらしい経験を子どもたちにも体験してほしいと強く思いました。

一方世界に目を向けるとウクライナ・ロシアをはじめとして各地で大きな戦争や紛争が相次いで起き、多くの人たちが日常を奪われてしまっています。多くの命、夢や希望が一瞬で消えていく凄惨な現状をみる度、心が張り裂ける思いです。開祖はこのような戦時下において、国家や民族の利益を優先し、力だけが正義であるかのような国際政治の悲惨な厳しい現実を目の当たりにしました。その体験の中で本当の平和は正義感と勇気と慈悲心の強い人間を育てる以外にないと思われ、人づくりによる平和で豊かな国づくりを目的とした少林寺拳法を創始されました。私たちは創始の目的である「人づくりによる平和の実現」をもう一度思い返して子どもたちを育成するべきであり、その育成に力を注がなければなりません。

最後に子どもたちのより良い成長と世界の平和を祈念し、年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

二〇二四年一月二十一日 門人代表 大阪長野道院 砂原良太